



「粘り強く たくましく 生きよ 青空へ」

校長 下 畑 茂

◇飯地小学校での思い出を胸に卒業へ

35年前の春、校庭に花の木が植えられました。その横の石碑には、上記の言葉が刻まれています。季節が巡り、時は流れても、この精神は不変です。

令和6年度卒業式。6年生5名が、飯地小学校の学び舎を巣立ちます。小学校6年間で振り返ると、何を思い出すでしょうか。コロナ禍で学校に登校できなかった時間。能登半島での大きな自然災害。学校で学べる日常のありがたさ、貴さを教えてくれました。また、創立150年。五毛座の改修披露。ハ号橋完成式典での一輪車渡り初め。多くの節目に立ち会いました。飯地の自然の中で、仲間や地域の方と一緒に学んだ出来事。思い出の扉を開くと、今も鮮明に浮かんでくることでしょう。楽しいこと、嬉しいこと。時には悲しみや悔しさも。時が過ぎ、こうした経験全てがエピソードに変わっていきます。

6年生の学級目標は「繋ぐ」この一年間、最高学年として、学校行事や委員会、そして毎日の生活の中で一人一人が個性を発揮し、自分の役割を果たし、全校のために進んで働く姿がありました。

朝活動や一輪車練習、また掃除の時間に、そっと寄り添い、低学年を支え、優しさを行動にできる姿。明るく、体を動かすことが大好き。正門から聞こえる元気なあいさつ。「いつもありがとうございます」と感謝の気持ちを語る声。「よさ見つけ」でお互いを認め、高め合い、「飯地小宣言」を通して誰もが安心して、楽しく過ごせる学校づくりに取り組みました。

こうした6年生に憧れ、いいじっ子はこの一年間、「なりたい自分」へと少しずつ近づいていきました。

卒業式では、全校児童がこの一年間の成長した姿で6年生を送り出します。そして4月から、6年生が築いたよき伝統を受け継ぎ「新しい自分づくり」に向けて、決意を新たに一つ進級していきます。



飯地小学校運営協議会 「地域と共にある学校」 令和6年度岐阜県ふるさと教育表彰

～地域ぐるみで育てたい姿 『豊かな体験を通して、ふるさと飯地への愛着と誇りをもつ』～

今年度も学校運営協議会・地域学校協働活動・「いいじっ子サポーター」の皆様方のお力添えのもと「ふるさと学習」を進めることができました。2月に岐阜県教育委員会より「岐阜県ふるさと教育表彰」の優秀賞が授与されました。本校は、教育活動の柱に「小規模校の特性を活かして、志をもちふるさとへの愛着と誇りを高め、自分の『夢』の実現に向け、粘り強く働きかけができる児童の育成」を掲げて取り組んで参りました。地域の方々との豊かな体験活動を通して、地域の良さを知り、願いに触れ、そこから自分達は何ができるかを考えて、行動にしてみました。今後も、「地域と共にある学校」の役割を確かめながら、自ら働きかけができる児童の育成を目指して参ります。

一年間、学校教育活動へのご理解・ご協力の程、ありがとうございました。

